



第23回上田八木・金融政策サーベイ(2018年10月)

発表日：2018年10月29日(月)14:00 上田八木短資株式会社

調査日	2018年10月24～26日
調査先	192先
回答率	90.1%

(Q1) 日本銀行の次回の金融政策決定会合(10月30日～10月31日)における決定内容について、どのような結果になるとみているのか。

	(今回)	(前回9月14日)	変化幅
緩和	1 (構成比%)	1	+0
不変	99	99	+0
引締	0	0	+0
上田八木・金融政策インデックス (「引締め」-「緩和」構成比%)	▲1	▲1	+0

(Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回9月14日)	変化幅
低下	1	1	+0
不変	94	92	+2
上昇	5	7	▲2
短期金利予想DI	+4	+6	▲2

(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回9月14日)	変化幅
低下	1	0	+1
不変	84	85	▲1
上昇	15	15	+0
2年国債金利予想DI	+14	+15	▲1

(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回9月14日)	変化幅
低下	2	1	+1
不変	57	65	▲8
上昇	41	34	+7
10年国債金利予想DI	+39	+33	+6

質問(Q5) 現状の金融緩和(オーバーシュートコミットメント)からの出口開始時期はいつ頃か。

(ここでの「出口開始時期」はオーバーシュートコミットメントを考慮したもので、例えば消費者物価が4月に目標にワンタッチした後に6か月後にその時期が来ると予想すると「出口開始」は10月という意味です。資産買入れの残高が減っても物価目標を達成していなければ「出口開始」とはみなしません)

	(今回)	(前回9月14日)	変化幅
1. 1年未満	3%	6%	▲3%
2. 1年以上3年未満	65%	58%	+7%
3. 3年以上	32%	36%	▲4%